

The background of the cover is a dynamic water splash, with a large, central splash at the top that tapers into smaller droplets and bubbles as it descends. The water is rendered in various shades of light blue and white, creating a sense of movement and freshness. The entire scene is framed by a dark blue border with rounded corners.

上越市
消防団適正配置検討委員会
調査報告書

平成31年3月

Contents

1. 消防団適正配置を検討するための調査	1
1.1 消防団適正配置を検討するための調査の考え方	2
1.2 分団ならびに支援組織へのヒアリング調査	2
1.3 ヒアリング調査から導出された仮説	2
2. 消防団の適正配置を検討するための基礎データ	3
2.1 分団ごとの消防部数	4
2.2 分団ごとの団員数	5
2.3 分団における管轄範囲内の世帯数	6
2.4 管轄範囲内の世帯数と消防団員数の比較	7
2.5 各分団の団員1名あたりの管轄範囲面積	8
2.6 器具置き場の密度分布	9
2.7 消防車両の配備状況(グラフ)	10
2.8 消防車両の配備状況(地図)	11
2.9 参考：上越市の人口増減率	12
3. 上越市「消防団員へのアンケート調査」の目的と概要	13
3.1 調査の目的	14
3.2 調査主体	14
3.3 母集団	14
3.4 調査方法	14
3.5 調査時期	14
3.6 調査実施方法	14
3.7 調査回答数	14
3.8 調査票(アンケート用紙)	14
4. 質問項目に対する調査結果	17
問1. 消防団員の「居住地」	18
問2. 消防団員の「勤務形態」	20
問3. 消防団員の「勤務地」	22
問4. 消防団員の「勤務中の火災発生覚知」	24
問5. 消防団員の「勤務中の出勤」	26
問6. 勤務地から器具置場までの移動時間	28
問7. 消防団活動における行事・研修	30
問8. 消防団活動における訓練	48
問9. 通常夜警の参加頻度	56
問10. 夜警の所要時間	58
問11. 管轄内の団員候補	60
問12. 再入団経験の有無	62
問13. 団員確保が困難な理由	66
問14. 消防部の見直しの必要性	76

1 消防団適正配置を検討するための調査

上越市
消防団適正配置検討委員会

調査報告書

1.1 消防団適正配置を検討するための調査の考え方

上越市においては、消防団活動の実態の把握と、その結果に基づく消防団の適正配置の在り方を議論するため、平成29年5月に、消防団、町内会、防災士会及び上越地域消防事務組合の代表者、学識経験者で組織する上越市消防団適正配置検討委員会を設置した。委員会においては、消防団の「全国的な傾向」「国の対応策」をふまえ、上越市消防団の状況をマクロ指標ならびに消防団に係る既存データから明らかにした。その中で懸念される事項が取り上げられた。上越市消防団は「消防団の果たすべき機能（消防力整備指針）」を今後も果たすことができるのか。「消防団の活動にかかる地域特性」に応じた対策とは何なのか。それらの問いに答えるために実態調査の必要性が議論された。

1.2 分団ならびに支援組織へのヒアリング調査

検討委員会では、消防団が抱える問題点や地域の実情を把握・分析し、対応策を検討するため、消防団と町内会等を対象にしたヒアリング調査を実施した。

<ヒアリング調査の概要>

消防団の分団（53分団）ごとに、「分団所属団員・支援組織のキーパーソン」へのヒアリング調査を実施した。

・期 間：平成29年7月～平成30年7月

・対象者：

① 各分団（222分団）の消防団員のうち、分団長がベテラン、中堅、若手の中から選出

② 消防器具置場が所在する町内会又は消防団後援会の役員

・会 場：消防器具置場、地区公民館や各区総合事務所等の公共施設

・時間割：最初の1時間程度で「町内会又は消防団後援会の役員」次の1時間程度で「消防団員（ベテラン、中堅、若手から選出）」

・方 法：検討委員会委員、市職員による面接方式

1.3 ヒアリング調査から導出された仮説

上越市消防団においては、「住まい方」「働き方」の変化から、「消防団の果たすべき機能（消防力整備指針）」を果たすことが困難になりつつある実態と、合併により広域化した地域の実態の違いにより「消防団の活動にかかる地域特性に応じた対策」の必要性が明らかとなってきた。また、消防団員数が減少する中で、活発に活動を続ける団員の負担の増加傾向についても明らかとなった。

検討委員会では、これらの傾向が「ヒアリング調査の対象者」のみに現れる傾向であるのか、上越市消防団員全体に影響を与える傾向であるのかを知るために、消防団員に対するアンケート調査（質問紙調査）の実施を決定した。